

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公開番号】特開2007-316873(P2007-316873A)

【公開日】平成19年12月6日(2007.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2007-047

【出願番号】特願2006-144686(P2006-144686)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/21 (2006.01)

G 0 6 T 11/60 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/21 5 3 6

G 0 6 F 17/21 5 7 0 R

G 0 6 T 11/60 1 0 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月14日(2007.12.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンテンツのデータを挿入する複数の領域を有するテンプレートのレイアウトを、前記領域に入力されるコンテンツのデータに応じて動的に変更し、電子文書を生成する情報処理方法であって、

前記領域に前記コンテンツのデータを挿入し、前記コンテンツのデータが前記領域からオーバーフローすると、前記オーバーフローしたデータを前記電子文書に付加する付加ステップを有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 2】

前記付加ステップは、前記オーバーフローしたデータをアノテーション形式のデータとして前記電子文書に付加し、

さらに、前記アノテーション形式のデータを前記電子文書とは別に表示する表示ステップを有することを特徴とする請求項1に記載された情報処理方法。

【請求項 3】

文書テンプレートの定義に従い、レコードごとに管理されるコンテンツを複数のコンテナに挿入して電子文書を生成する情報処理方法であって、

前記コンテナにコンテンツを挿入した際に、前記コンテナからの前記コンテンツのデータのオーバーフローを検出する検出ステップと、

前記オーバーフローしたデータをアノテーション形式のデータとして前記電子文書に付加する付加ステップとを有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 4】

前記付加ステップは、前記コンテナに収まらなかった前記コンテンツのテキストデータを前記オーバーフローしたデータとすることを特徴とする請求項3に記載された情報処理方法。

【請求項 5】

前記付加ステップは、前記コンテナに挿入した前記コンテンツの画像データが予め定めた縮小率よりも縮小された場合、前記縮小の前の画像データを前記オーバーフローしたデー

タとすることを特徴とする請求項3または請求項4に記載された情報処理方法。

【請求項6】

前記付加ステップは、前記オーバーフローが発生した位置に関する位置情報を前記アノテーション形式のデータに付加することを特徴とする請求項3から請求項5の何れか一項に記載された情報処理方法。

【請求項7】

さらに、前記アノテーション形式のデータに付加された前記位置情報に基づき、前記アノテーション形式のデータの存在を示すマーカを付加した、前記電子文書に相当する文書を表示するステップを有することを特徴とする請求項6に記載された情報処理方法。

【請求項8】

さらに、前記マーカに対するユーザの操作に応じて、前記アノテーション形式のデータを、前記文書とは別に表示するステップを有することを特徴とする請求項7に記載された情報処理方法。

【請求項9】

文書テンプレートの定義に従い、レコードごとに管理されるコンテンツを複数のコンテナに挿入した電子文書を受信する受信ステップと、

前記電子文書にアノテーション形式のデータが付加されている場合、前記アノテーション形式のデータが含む位置情報に基づき、前記アノテーション形式のデータの存在を示すマーカを付加した、前記電子文書に相当する文書の表示データを生成する生成ステップとを有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項10】

さらに、前記マーカに対するユーザの操作に応じて、前記文書とは別に、前記アノテーション形式のデータを表示する表示データを生成するステップを有することを特徴とする請求項9に記載された情報処理方法。

【請求項11】

さらに、前記電子文書に前記アノテーション形式のデータが付加されている場合、前記アノテーション形式のデータが含む位置情報に基づき、前記アノテーション形式のデータの存在を示すマーカを付加した、前記電子文書に相当する文書の印刷データを形成するステップと、

前記文書とは別に、前記マーカに関連付けた前記アノテーション形式のデータを印刷する印刷データを形成するステップとを有することを特徴とする請求項9または請求項10に記載された情報処理方法。

【請求項12】

さらに、前記電子文書に前記アノテーション形式のデータとしてテキストデータが付加されている場合、前記アノテーション形式のデータが含む位置情報に基づき、前記テキストデータがオーバーフローした領域の印刷条件を調整するステップと、

前記印刷条件の調整により前記領域に前記テキストデータを含めた、前記電子文書に相当する文書の印刷データを形成するステップとを有することを特徴とする請求項9または請求項10に記載された情報処理方法。

【請求項13】

文書テンプレートの定義に従い、レコードごとに管理されるコンテンツを複数のコンテナに挿入して電子文書を生成する情報処理装置であって、

前記コンテナにコンテンツを挿入した際のオーバーフローを検出する検出手段と、

前記オーバーフローしたデータをアノテーション形式のデータとして前記電子文書に付加する付加手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項14】

文書テンプレートの定義に従い、レコードごとに管理されるコンテンツを複数のコンテナに挿入した電子文書を受信する受信手段と、

前記電子文書にアノテーション形式のデータが付加されている場合、前記アノテーション形式のデータが含む位置情報に基づき、前記アノテーション形式のデータの存在を示す

マーカを付加した、前記電子文書に相当する文書の表示データを生成する生成手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 15】

情報処理装置を制御して、請求項1から請求項12の何れか一項に記載された情報処理を実行することを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項 16】

請求項15に記載されたコンピュータプログラムが記録されたことを特徴とするコンピュータが読み取り可能な記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

本発明にかかる情報処理は、コンテンツのデータを挿入する複数の領域を有するテンプレートのレイアウトを、前記領域に入力されるコンテンツのデータに応じて動的に変更し、電子文書を生成する情報処理であって、前記領域に前記コンテンツのデータを挿入し、前記コンテンツのデータが前記領域からオーバーフローすると、前記オーバーフローしたデータを前記電子文書に付加する付加ステップを有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

また、文書テンプレートの定義に従い、レコードごとに管理されるコンテンツを複数のコンテナに挿入して電子文書を生成する情報処理であって、前記コンテナにコンテンツを挿入した際に、前記コンテナからの前記コンテンツのデータのオーバーフローを検出する検出ステップと、前記オーバーフローしたデータをアノテーション形式のデータとして前記電子文書に付加する付加ステップとを有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

また、文書テンプレートの定義に従い、レコードごとに管理されるコンテンツを複数のコンテナに挿入した電子文書を受信する受信ステップと、前記電子文書にアノテーション形式のデータが付加されている場合、前記アノテーション形式のデータが含む位置情報に基づき、前記アノテーション形式のデータの存在を示すマーカを付加した、前記電子文書に相当する文書の表示データを生成する生成ステップとを有することを特徴とする。